

公益財団法人 **犬山城白帝文庫**

# 歴史文化館だより

2024.10.1



「智仁勇」 成瀬正雄筆



剣道の構えをする成瀬正雄  
大正6年(1917)3月13日撮影

上の書は犬山壮年会会長である成瀬正雄（成瀬家10代当主・1869－1949）の揮毫によるもので、左の写真のように犬山壮年会犬山支部内に掲げられていました。武道場にふさわしく堂々とした力強さが伝わってきます。「智仁勇」の言葉は孔子の『論語』に「子曰く、知者は惑わず、仁者は憂えず、勇者は懼れず」の一節があります。

犬山壮年会は旧犬山藩士に限らず、犬山に縁のある人々にも門戸を開く同郷会で、明治19年（1886）に設立され、本部は東京にあり、犬山と名古屋に支部が置かれました。会が発行する雑誌にも「智仁勇」の名称が使われています。

\*本作は特別展「犬山城」で展示します。

## 犬山城・上廣 歴史文化フォーラムのご案内

今年の歴史文化フォーラムには、篠山藩主青山家のご子孫である青山忠靖氏にお話をいただきます。第9代犬山城主の成瀬正肥は篠山藩主青山忠良の三男として生まれ、第8代城主正住の婿養子となって成瀬家を継ぎます。のち、犬山城天守の修復維持や犬山町の振興にも大きな役割を果たしました。こうした縁で、犬山市と丹波篠山市は平成26年に姉妹都市となっています。

正肥の弟で青山家を継いだ忠誠は、篠山の青年たちの教育に情熱を注ぎました。御講演のテーマは、忠誠が篠山に起こした鳳鳴義塾と、東京に開いた寄宿舎 尚志館です。ぜひご聴講いただき、明治という時代の息吹を感じとってください。 ※手話通訳あります

◇11月16日(土) 午後1時30分～3時 (開場は午後1時)

◇講 師：青山 忠靖 氏

(事業構想大学院大学特任教授、公益社団法人 兵庫県育才会理事長)

◇演 題：青山忠誠と明治の志

～鳳鳴義塾と尚志館が紡ぐ丹波篠山の小さな物語～

◇会 場：犬山市民交流センターフロイデ フロイデホール

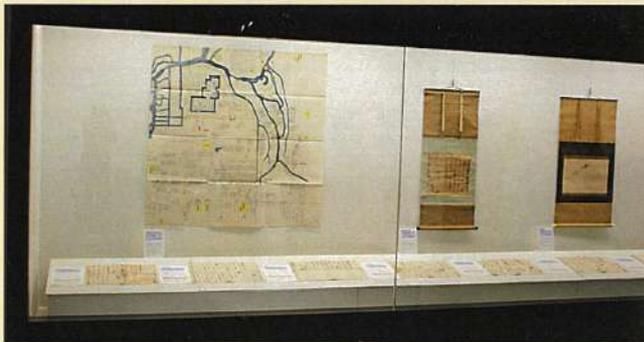
◇定 員：300名 (予約不要、先着順。定員になり次第締め切り)



## 企画展 「成瀬家に届いた 武将の手紙」を開催しました

犬山城白帝文庫が所蔵する古文書には、成瀬家歴代にあてて届いた手紙も含まれています。特に、初代正成（1567～1625）と二代正虎（1594～1663）は、尾張藩政だけでなく幕府の政治にも関与し、広い人脈をもっていました。

正成・正虎へ出された手紙には、長久手の戦い・関ヶ原合戦・大坂の陣などにおいて同じ戦場で戦った武将、幕閣としてともに腕を振るった武将などの顔ぶれがみられます。その一部はこれまで展示で活用してきましたが、本展では白帝文庫設立20周年を記念して、21通をまとめて公開するとともに、正成・正虎にまつわる具足・刀剣や、正成ら自身が書いた手紙も展示しました。



◇会 期：4月25日(木)～5月28日(火)

◇入館者数：12,588名

## ◆ 白帝文庫友の会入会のご案内 ◆

白帝文庫友の会は、犬山城白帝文庫の活動の支援をするとともに、会員相互の親睦を図り、文化の向上に寄与することを目的としています。会員は随時募集しています。

### 特典

- ①犬山城・城とまちミュージアムに会員証で何回でも入館できます
- ②特別展の招待券をお送りします
- ③視察研修会や講座など催し物の案内をお送りします
- ④「特別展図録」と「歴史文化館だより」をお送りします

### 年会費

3,000円

### 会員期間

お申込み受付後から1年間  
(会員証をお送りします)

### お問い合わせ

入会案内をご希望の方は下記へご連絡ください  
〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券65-5  
TEL 0568-65-1707 FAX 0568-62-2055

### 公益財団法人 犬山城白帝文庫歴史文化館

〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券8(城とまちミュージアム内)

TEL/0568-62-4700 FAX/0568-61-5765

E-mail/info@inuyamajohb.org